

## 水が漏れる

確認が  
できたら  
チェック

### ①水がどこから漏れているか確認



### ②吐出口から漏れている

- 噴霧ホース接続部の緩み、パッキンに異物の付着や亀裂などがないかを確認。



- ▶ 異物の付着は除去し、傷・亀裂の場合は交換。

### ③ノズルと噴霧ホースの接続部から漏れている

- パッキンがあるか、異物の付着や亀裂などがないかを確認。



- ▶ 異物の付着は除去し、傷・亀裂の場合は交換。

## 作業終了後に必ず行うこと

ちゃんと  
できたら  
チェック

### ①バケツに水を入れて洗浄噴霧をする

- 清水を入れたバケツ等容器にストレーナを沈め、噴霧を行い、ポンプ内、ノズル、ホースの洗浄を行う。



- ▶ 怠ると弁が固着し噴霧ができない原因になります。弁の固着を解除するには、分解が必要になります。



### ③燃料を抜く、使い切る

- 本体を傾け燃料を抜くかオイルチェンジャー等で抜く。
- ガス欠になるまでエンジンをかける。



## 燃料の取扱い

ちゃんと  
できたら  
チェック



- ①使い切る **ポイント**  
作業終了後に清水による洗浄噴霧運転で燃料を使い切る。



- ②余った場合でも1ヵ月以内に使い切る  
万が一余った燃料は密閉容器に入れ、冷暗所に保管し1ヵ月以内に使い切る。



## エンジンオイルの取扱い

ちゃんと  
できたら  
チェック



- ①エンジンオイルは必ず入れる  
怠るとエンジンが焼き付き、使用できなくなる。



- ②エンジンオイルは定期的に交換  
初回は1ヵ月後又は20時間使用後に交換  
次回は3ヵ月毎又は50時間使用後に交換



## トラブルを未然に防ぐ



確認  
できたら  
チェック

動画をご覧ください。ほとんどのトラブルを回避できます。動画はコチラ



- ①正しい組立て・燃料づくり・運転操作をすることでストレスなくご使用いただけます。

**組立てのポイント** **運転操作の仕方** **エンジン始動テスト**



- ②作業終了後に行うことで、次回快適にご使用いただけます。

**作業終了後に必ず行っていただきたいこと**



- ③お困りごとが解決できます。

**エンジンがかからない!** **噴霧できない!** **水が漏れる!**



HAIGE ハイガー産業株式会社

お問い合わせ

24時間365日  
無休受付

カスタマーサポートセンターお問い合わせ窓口  
<https://haige.jp/c/>



取扱説明書と併用してください。

# チェックしてGO!

保存版

このガイドでできること

- ①トラブルを未然に防ぐことができる ②トラブルを自己解決できる

4ストロークエンジンセット動噴 ※機種により仕様が異なる場合があります。

## 使用前の準備

ちゃんと  
できたら  
チェック



- ①12mmスパナ、14mmスパナ又はペンチやプライヤーをご用意  
アクセルレバーとグリップを取付ける際に使用。



- ②無鉛レギュラーガソリンをご用意  
・燃料タンク容量：0.8L



- ③エンジンオイルをご用意  
・推奨オイル：4ストロークガソリンエンジン専用  
100%化学合成油 SAE10W-30  
・オイルタンク容量：0.1L



## エンジン始動テスト

取扱説明書  
P.16に掲載



ちゃんと  
できたら  
チェック

### ①噴霧ホースは本体から外す



## ②バケツに水を入れる

バケツ等容器にストレーナが完全に沈む程度に清水を入れます。  
空運転は厳禁!

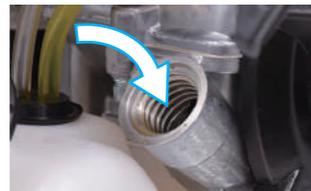
**ポイント**



## ③エンジンオイルを給油

SAE10W-30 をオイルゲージで確認しながら給油。

**取扱説明書 P.13 に掲載**



## ④燃料を燃料タンクに入れる

無鉛レギュラーガソリン



## ⑤プライマリーポンプを押す

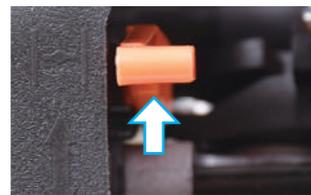
燃料を引き出します。  
燃料がプライマリポンプに溜まり、透明の戻りホースに気泡が出たらOK。



## ⑥チョークレバーを上にする

エンジンが冷えている場合

▶ 外気温に関係なく、エンジンそのものが冷えている場合で、翌日の再始動などがこれに当たります。



## ⑦アクセルレバーを全体の 1/4 ~1/2 の位置にする



## ⑧リコイルスターターを正しく引く

**取扱説明書 P.18 に掲載**

**ポイント**



## ⑨初爆(ブルン!というかりそへな音)が確認できたらチョークレバーを下にする

**ポイント**

**取扱説明書 P.19 に掲載**



## ⑩再度リコイルスターターを引くとエンジンがかかる

アクセルレバーを徐々に上に上げると吐出口から水が出る。



## エンジンがかからない

確認が  
できたら  
チェック

症状・原因	対処	確認が できたら チェック	
古い燃料を使用している	新しい燃料と交換 <b>取扱説明書 P.22 に掲載</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	
燃料が入っていない	燃料を入れる	<input checked="" type="checkbox"/>	
エンジンオイルの入れすぎ	オイルを抜く	<input checked="" type="checkbox"/>	
エンジンオイルが少ない	オイルを補充	<input checked="" type="checkbox"/>	
エンジンオイルにガソリンが混入	清掃・交換	<input checked="" type="checkbox"/>	
チョークレバーを上げずにリコイルを引いている	チョークレバーを上にする 初爆が確認できたらチョークレバー下げてリコイルを引く(エンジン始動テスト⑧参照)	<input checked="" type="checkbox"/>	
初爆を聞き逃し、リコイルを引き続け、点火プラグが燃料で濡れている	いわゆる「かぶり状態」のため、点火プラグ、ピストン内部を乾かす <b>取扱説明書 P.30 に掲載</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	
点火プラグ不良・キャップの接続不良	点火プラグ先端と接続部分の確認と火花の確認 <b>取扱説明書 P.26 に掲載</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	
プライマリーポンプに燃料が来ていない	燃料ホースの詰まりや亀裂	清掃・交換(販売店・メーカーに相談)	<input checked="" type="checkbox"/>
	プライマリーポンプに亀裂	交換(販売店・メーカーに相談)	<input checked="" type="checkbox"/>
	燃料タンク内の錆や異物の詰まり	清掃	<input checked="" type="checkbox"/>

## 水が出ない(噴霧できない)

確認が  
できたら  
チェック

### ①吐出口から水が出るか確認

吐出口に噴霧ホースをつなぐ前にエンジンをかけ、水が出るか確認。

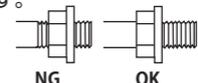
▶ 水が出ればノズルとグリップの接続に問題があります。



### ②ノズルとグリップの接続方法が間違っていないかを確認



**1** ノズルのナットを指で止まるところまで時計回りに回します。  
**2** グリップを取付け、回るところまで時計回りに回します。  
**3** グリップを握り固定させ、ノズルのナットをスパナやペンチ等で締付けます。



### ③吸水ホースの接続を確認

吸水ホースが、本体ポンプ側の吸水口にしっかり接続されているか確認。



### ④ストレーナが浮いていないか確認

清水に沈めたストレーナが浮き上がっていないか確認。

▶ 浮き上がっている場合は、沈める。  
清水が少なすぎても吸い込みません。



### ⑤薬剤による弁の固着

使用後の洗浄を怠ると薬剤が固まり弁が固着し、水が出なくなる。

**ポイント**

